

## 22年度 第3回教育委員会議事録

日 時 2022年9月2日(金) 10:00~17:00

会 場 日本代協 会議室(ハイブリッド開催)

出席者 石川委員長

ブロッ ク	委員名	ブロッ ク	委員名	ブロッ ク	委員名	ブロッ ク	委員名
北海道	上島	北東北	小向	南東北	赤城	上信越	中田
東関東	井上	南関東	鳥山	東京	雨宮	東海	市川
北陸	佐野	近畿	木村	阪神	渡辺	東中国	山田
西中国	近藤	四国	富永	九州北	甲山	九州南	中村

・オブザーブ小俣副会長 ・事務局小見常務、坂特命部長

### 〔配付資料〕

- 4-1 22年度第3回理事会議事録(サマライズ版)
- 4-2 22年「目指せ、三冠王」の目標数値の確認
- 5-1-1 合同運営会議関連資料(0819)
- 5-1-2 損保トータルプランナー認定状況、損保トータルプランナーがいる店登録状況  
バッジ購入状況 合同運営会議\_損保協会側資料抜粋
- 5-2 コンサルWebセミナー運営(22年度2回目日程、マニュアル・進行表最新版・心得・  
スタッフリスト) <審議事項>
- 5-3 コンサル202304開講コースの受講者募集目標数案 <審議事項>
- 5-4 レター:受講勸奨の積極推進
- 6-1 アカデミー\_集計レポート-(20220825集計)
- 6-2-1 アカデミー\_システム改定項目一覧、移行スケジュール <審議事項>
- 6-2-2 アカデミー\_10月更新ツール <審議事項>
- 6-3 アカデミー保険会社版
- 7 各PT議事録(実施済分)
- 8-1 「大学講座」講師プレゼンテーションスキルアップ研修 <審議事項>
- 8-2 その他(インボイス制度対応、最低賃金時間額目安)

(進行) 石川委員長

< 委員会要旨 確認・決定事項 >

【審議事項】

下記項目を決議し、理事会に報告する

・日本代協アカデミーの改訂について

日企社のシステム改定による利便性とスケジュールの方向性を受け入れること。  
10月更新手続きについては、22年10月から3月までの半期分請求とすること。  
上記2項目を当委員会で決議した。

・損害保険大学課程 23年4月開講の全体受講者目標数 840名は変更しない。各代協の目標はブロックにおいて決定いただくことを決議した。

・損保大学課程 Web セミナーについて各回の状況を共有し、円滑な運営につなげ、11月以降の第2回目セミナーの日程を決議した。

・大学講座講師選定について、認定講師育成研修の企画開催について決議した。

【確認・決定事項】

・次年度の各目標数、販促ツール必要数などを確認する。

・教育委員内各PTの取組状況を共有し、よりよい教育コンテンツを提供できるように全体で議論を深めていくこと。

・23年4月改定の日本代協アカデミー(以下「アカデミー」)について、現状課題とリニューアル内容を日企社協力のもとで確認し、今後の情宣活動を検討すること。

1. 議事録作成者の指名 小向教育委員(北東北ブロック)

2. 石川委員長挨拶

3. 小俣副会長挨拶

4. 前回委員会開催以降の業務報告

第3回理事会議事録のサマライズ版を確認することとする

5. 「損害保険大学課程」の運営

(1) 合同運営会議(8月19日)について共有 雨宮副委員長

プログラム運営状況

21年度コンサルコース未了者は、年度をまたぐためモチベーション低下につながり、継続が

難しい状況になることが見受けられる。原則年度内で終了するよう案内する。  
本年度は昨年度に比べて欠席者が増回しており、web 環境下による欠席への心理的ハードルが下がっていることが影響しているのではないかと考える。特に後半枠で受講すればよいという安易な考えは危険であることを確認した。一つのセミナーには人数上限があるため、本来の受講生以外は定員オーバーで受講できない可能性がある。そのため早期受講を伝える。

#### 受講料改定案

9月末に公表予定として説明があった。1万円の値下げ方向で検討されている。背景は受講しやすい環境を整えるためとされ、収支面に悪影響を及ぼさないとの判断がある。23年度受講分(22年12月募集開始)から値下げ料金が適用される予定である。

#### TP新規取得式典・セミナー

コロナ禍以前のリアル開催から、施していたが、今後はオンライン形式で開催する。新たに交流会を開催し、各自の取組などについて発表し共有する。式典、セミナーについては参加対象を変更し、新規取得者だけではなくTPあればOKにする。アーカイブで視聴できるようにしてTPの特典という位置付けで考えたい。

(協会より代協に支援要請があり、全面的に協力する)

#### TP顔写真付き認定証の作成検討状況

認定数は15,961名だが、カード型認定証発行数は7,917名(49.6%)である。  
顔写真付きカード型認定証の作成販売について損保協会から事前情報があった。  
協会側の保険販売PTで検討がなされる。  
代協からは、取扱や販売に資格を伴う他業界では本人証明を顧客へ提示する目的として一般的に行われている取引(募集)時に資格認定証を提示し、自身の資格を伝えることで、最高峰資格を保有している質の高い募集人であることの付加価値を認識してもらえないかとの意見を表明した。

#### TP周知・魅力向上策(広告出稿)

今回3社から選定しweb広告で効果測定を行う。広告の目的はTP名称の周知を図ること。エンドユーザーの認知度をいかに高めTPの付加価値を作れるか。それにより受講者が増加することを期待。9月に業者がコンテンツを作成し、年内に動き始める。

## (2)Webセミナー実施状況(22年度受講生)

運営上の課題を共有し、第2回セミナー日程を決定する

各ブロックより様々な意見があり要約記載する。

- ・冒頭での司会注意事項などが多く、若干時間が押すことがある。
- ・チャット機能を活用出来ない受講者への対応。
- ・スタッフ1名で2ルームを担当する際の負荷が大きい。
- ・口頭注意においては、個人名指しは厳禁。
- ・運営責任者はある程度の権限を任せられているので、ケースバイケースで対応しても良い。
- ・科目順番の入替効果は確実にあり、第2回セミナーも科目順番を入替る。
- ・PC操作に不慣れな受講生の場合、氏名変更にすら苦慮することが多い。
- ・受講認定基準としては、リアルセミナーと同じ目線で判断すること。
- ・同一代理店受講生には、事務所内の異なる場所での受講を事前に案内する必要がある。

- ・同一代理店受講者は、運営責任者の判断ですべて異なるルームに移動させて良い。
- ・オブザーバーも原則セミナー開始前のミーティングに参加する。
- ・スタッフとして教育委員以外の理事にも参加を促す。
- ・運営は教育委員が一手に担うものではないため、会長には参加協力要請を行う。

(審議事項)

Web 環境面の注意点については事前メールアナウンスを追加し即日改定済みである。

(3)2023/04 開講コースの受講者募集目標

- ・東海日動パートナーズは人事制度に TP 取得を取り入れた。
- ・受講者増とともに運営スタッフの確保問題が発生する。

(審議事項)

- ・23 年度コンサルコース受講者数目標、各ブロック目標とも前年同様とする。
- ・ポスター、要項、ちらしについては、教育委員が必要部数を担当ブロック各代協に確認し、9 月 30 日までに日本代協事務局に報告する。

(4)テキスト改定

- ・科目 3.の動画の改定
- ・2022 年度科目 4.5.教材ならびに 2023 年度教材の制作スケジュール 12 年前の旧動画をリニューアルする。
- ・22 年度科目 4・5 については改定案作成済み。23 年度科目については今後作成予定。

(審議事項)

改定について異議なし

6.その他

(1)大学講座講師選定と認定講師育成研修の企画開催

累計 46 名が認定講師となり、毎年 6~7 名が新たに認定講師になるよう拡大したい。

(審議事項)

本年度講師要請を受けた大学について、派遣実績のある講師の中から選定し報告する

(2)その他

- ・インボイス制度について、特に三者間契約を締結している代理店は注意が必要である。
- ・最低賃金が引上げとなり注意すること。

7. PT の検討状況

(1) 大学課程カリキュラム PT

9 月より講師打合せの日程が決定次第 PT メンバーで協議する。

(2) 情報提供コンテンツ PT

特定地域に特化しない汎用性のあるコンテンツをスポットで提供するためにブロック、都道府県、支部で実施するセミナー情報を共有したい。

その際にはセミナー動画の録画とアカデミー掲載の可否や費用の有無を確認していく。コンテンツは汎用性にあるもの(特定の地域に特化せず)を考えている。

次年度コンテンツ候補として、成功している代理店や募集人のインタビューおよび他業種経営者の話、代地点賠償の情報提供など単一のテーマに絞り一定期間を通して発信したい。

### (3) 学習コンテンツ PT

- ・ニュートンの学習コンテンツについて共有する。学習履歴が残るという点が評価されているが、詳細確認が必要である。
- ・保険以外の業種も含め、売上拡大につながるコンテンツを募集人カテゴリごとにほしい。
- ・web セミナーで課題となっている Zoom の使い方などを含めないか

### (4) アカデミー推進 PT

- ・新規登録もさることながら、登録だけで活用していない代理店向けのサポートをすることで、稼働率が上がり、結果として満足度が高くなれば口コミで紹介されるのではないかと。
- ・代理店、募集人単位感じるポイントが異なるので、ターゲットを明確にした情宣活動が必要ではないか。
- ・他委員会とコラボした推進活動は検討できないか。企画環境委員会のリスクマネジメント講座の受講者にアカデミー登録を促すことは可能か。
- ・アカデミーの使い方が分からないという代理店向けの使い方講座を実施してはどうか。
- ・登録時の入口がわかりにくく、QR コードで登録を検討してはどうか。

## 8 . 日本代協アカデミーの展開

### (1) 日本代協アカデミーシステム改定対応

新システムの改定効果を活かすために、日企社との協議を重ね、利用者に対して料金改定とリニューアル内容を理解いただける案内を行う。そのための検討スケジュールと項目整理を行う。

### (2) 10月更新ツール(含むスケジュール)

- ・公的保険関連カリキュラムを登載する。
- ・個人情報管理コンテンツを開始、ブレインマークスコンテンツは23年3月まで登載を継続する。

(審議事項)

改定内容およびスケジュールについて異議なし

### (3) 登録ID・登録代理店数(22年度目標値)の再確認

## 9 . 挨拶

小俣副会長 石川委員長

[次回開催]

2022年度 第4回委員会

2023年1月27日(金)

以上